

区分	職場環境要件項目	当法人の取り組み
入職促進に向けた取り組み	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人の基本理念・基本方針を施設に掲示している。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	無資格者・未経験者の採用や、資格取得までの業務のサポートを行っている。
	職業体験の受入れや地域行事への参加等による魅力度向上	福祉専門学校生や大学・短大の栄養科の学生の実習受け入れを行っている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格取得支援制度を導入し、初任者研修、実務者研修の受験料や研修費等の全額補助や勤務シフトの考慮等を行うことにより、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。また、介護福祉士取得者に合格祝金を進呈するとともに資格手当を支給している。
	エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入	新入職員に対し、先輩職員による相談を実施している。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児休業・介護休業の利用促進とともに、子の看護休暇と介護休暇をそれぞれ年5日分、特別有給休暇として付与している。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	有給休暇の半日取得や時間単位での取得など、取得しやすい制度を導入している。
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談窓口の充実	窓口担当者を定め、相談を実施している。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	介護技術の内部研修、リフトや電動ベッド、特浴の導入を行っている。また、休憩室にはマッサージチェアを備え付けている。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	介護職員は短時間勤務労働者も含め全員、年2回の健康診断時に腰痛検査を実施している。また、マッサージチェアを備え付けた休憩室、ベッドのある仮眠室を設置している。
	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	雇用管理改善のための外部研修に積極的に参加している。

腰痛を含む心身の健康管理	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	各種事故・トラブルへの対応マニュアルを作成して研修を行っている。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	介護記録クラウドサービスを使用するとともに、各居室にセンサーを導入し、業務負担量の軽減を図っている。
	高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化	定年後再雇用や高齢者の積極的中途採用を行い、多数の高年齢職員が就業している。
	5S活動（業務管理の手法の一つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備	清掃専門職員の配置を行うとともに、内部研修を行い、各職員の5Sへの意識付けを定期的に行っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	業務手順書を作成するとともに、介護記録クラウドサービスを導入し、情報の共有化と業務の標準化を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	ユニット会議での個々の利用者の状況を踏まえた業務改善の相互理解やヒヤリハット報告書を使用し、改善を行っている。
	利用者本位のケア方針など介護保険や理念等を定期的に学ぶ機会の提供	内部研修を積極的に行っている。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	内部研修を行い、業務の標準化を行うとともに、家族からの職員宛て手紙などを回覧している。